

『第6回伊賀市非核平和推進中学生広島派遣事業』



伊賀市では、8月5日から2日間、市内中学生の代表11人を広島市に派遣しました。参加した生徒は、6日に開催された平和記念式典への参加や平和記念資料館の見学を通じて、世界平和への思いを新たにしました。

今年は国連の潘基文事務総長をはじめ、原爆を投下した米国代表や核兵器を保有する英仏両国の代表など、過去最多となる74か国の代表が参加しました。

核兵器廃絶に向けた国際的な機運の高まりを感じながら、私たち一人ひとりにできることを考える機会となりました。

参加した生徒のレポートからヒロシマの様子をお伝えします。

広島派遣：平成22年8月5日(木)、6日(金)

■行程

- 5日 ～ 被爆体験講話聴き取り
平和記念公園見学
広島平和記念資料館見学
原爆の子の像へ千羽鶴捧げ

- 6日 ～ 広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式(平和記念式典)参加
平和演劇鑑賞と国連事務総長講演

【被爆体験講話聴き取り】



時々、目頭を押さえながら話をしてくれた語り部の北川さんの言葉で印象的だったのは、「どうしてこんな恐ろしいことをするのか。」です。どんな理由があっても、多くの人々を苦しめる原爆は二度と使ってはいけないと思いました。

崇広中学校 深谷好芳さん

僕は、北川さんの話を聴いて一つ驚いたことがあります。それは広島が伝わりやすい国と伝わりにくい国があるということです。世界中、どのような国においても、「核なき世界を目指すということ」が、伝わればいいのになと思いました。

柘植中学校 宮島拓磨さん

【原爆ドーム】



私は原爆ドームのドームは緑色だったことや、広島県物産陳列館という建物だったということ、新しく知ることができました。悲惨なその建物を見る事で、戦争や原爆の恐ろしさを、再確認しました。

緑ヶ丘中学校 近藤亜咲さん

原爆ドームを見て、すごく迫力があって原爆の恐ろしさをあらためて感じました。今の世界にはこの原爆ドームは必要だと思いました。原爆ドームを見てもらって、戦争の無意味さを知ってもらいたいです。

霊峰中学校 北山心哉さん

【原爆の子の像】



原爆の子の像のところには、多くの千羽鶴が捧げられてありました。それを見て、「原爆が投下されたことは決して忘れてはいけないし、心から平和を願っている人がたくさんいる。」と感じました。

丸山中学校 呉服優奈さん

僕たちは、原爆の子の象の前に千羽鶴を捧げました。捧げる場所がないほど鶴が並べられていました。僕はそれを見て、佐々木貞子さんの意志を今も多くの人が受け継いでいる事を知りました。また、鶴を見て平和を願う人の多さを知り驚きました。

島ヶ原中学校 中川裕太さん

【広島平和記念資料館】



平和記念資料館には、当時の様子を模型で再現したものや、遺留品、写真、絵が展示してありました。中には髪の毛などもあって、とても衝撃的でしたが、あらためて自分で見たことを皆に伝えなければならぬと感じました。

成和中学校 井元彩友美さん

平和記念資料館では、今から65年前の原爆投下から残されている遺品などが展示されていました。展示されているもの一つ一つが、原爆がもたらした悲惨さを物語っていました。戦争による悲しみを次の世代へと伝えていくべきだと思いました。

阿山中学校 竹島佑亮さん

【平和記念式典】



8月6日、私は式典に参加しました。広島県知事の言っていた、「平和な世界に生きている私たちが核兵器のない世界を作っていこう。」と言った言葉にとっても感動し、平和な世界作りに私も努力し、作っていきたいと思いました。

城東中学校 山下香織さん

今年の平和記念式典は、潘基文国連事務総長なども参列していました。僕は、日経つにつれて世界の人たちの平和に対する想いが強まっているからだと思います。少しでも早く、戦争も核もない平和が訪れてほしいです。

大山田中学校 中井康太郎さん

今年は国際連合の事務総長や、世界中から70か国以上もの人々が参列していて、本当に平和について真剣に考えてくれてるんだと感動しました。だから感じたことを学校で発信し、まずは自分の周りから平和にしていきたいと思います。

青山中学校 福永智之さん